

# 松本佑介

まつもと ゆうすけ

田口山小、長尾西中、四條畷高校  
京都大学 経済学部、三井住友銀行 本社  
枚方市議会議員(令和5年初当選、現在1期目)  
自民党枚方市支部 政務調査会長  
水都くらわんか花火大会実行委員、枚方市消防団

枚方を動かす  
新しいチカラ

## 松本佑介のチラシをお読み頂き ありがとうございます!

とっつきにくい政治のチラシに目を通して下さったこと、  
大変嬉しく思います。このチラシには、いつも松本佑介が考えている  
枚方の課題と解決策を書かせて頂きました。  
皆さんも、普段なかなか足を止めて政治のことを考える時間も  
作りにくいと思いますが、是非一度、この機会に松本佑介の主張を  
ご覧いただけますと幸いです。



## 松本佑介は、変革の先駆者として挑戦します。 政治家が変われば、政治が変わる!

今、政治家は、政治能力だけでなく、誠実さや行動力など、  
そもそもの資質まで問われる時代になりました。  
松本佑介はブレません。信念を持って、  
枚方の政治を変えるために、日々活動を続けてまいります。



あなたの駅に居ない日も、松本佑介は  
いつもどこかで活動しています。

松本佑介の活動報告  
フォローお願いします!



松本佑介の歩みをともに感じてください。  
議会での発言日、演説会の日程等もこちらでご連絡いたします。

### もくじ

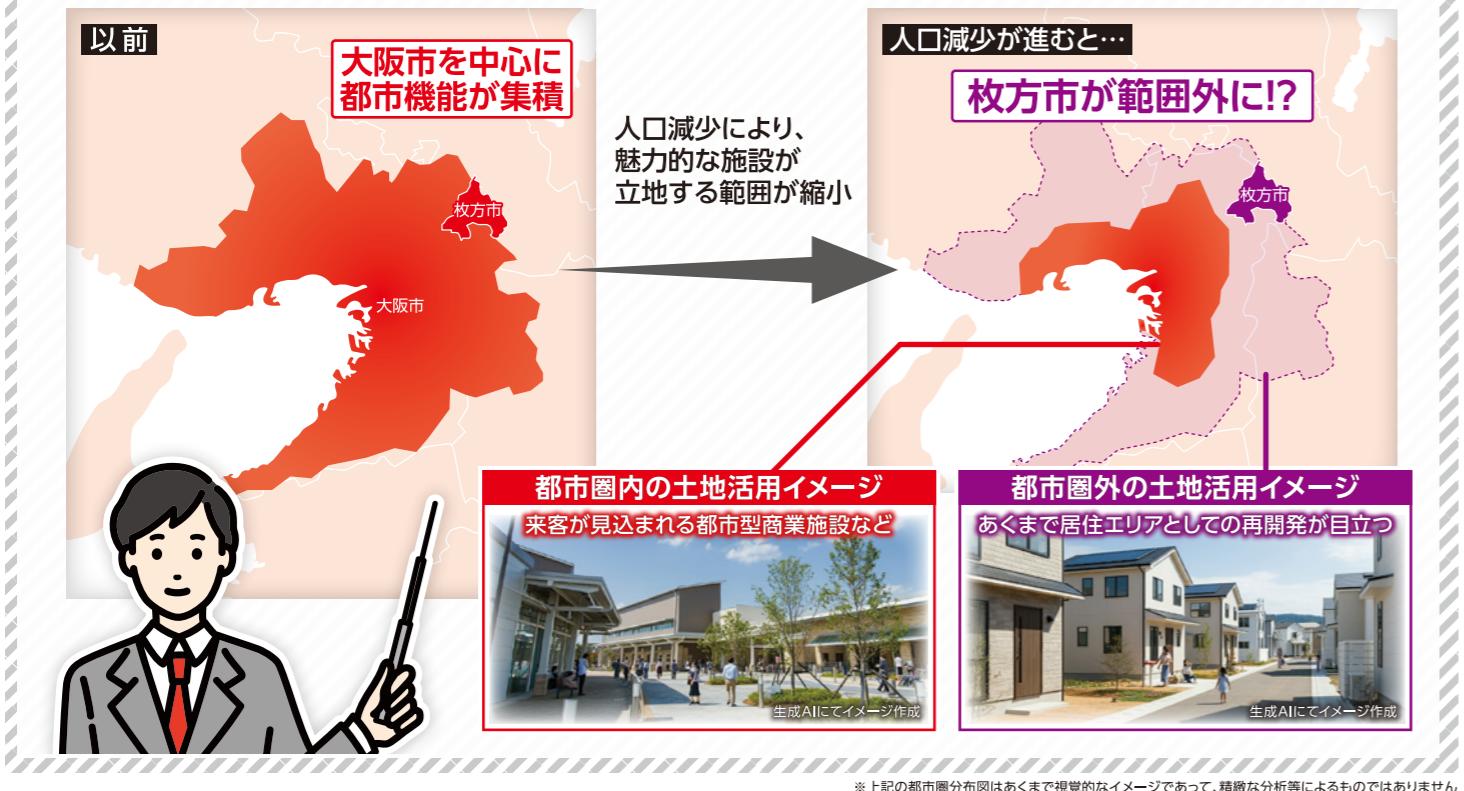
- ① ご挨拶、松本佑介の考え方 ━━ 表紙
- ② 松本佑介の主張 ━━ 内面  
・課題認識  
・解決策 ━━ 左ページ  
━ 右ページ
- ③ 松本佑介の政策 ━━ 裏表紙

重要  
ご参考  
お読みください



松本佑介の主張は内面へ

# 人口減少の影響はすでに枚方でも現れてきている!



課題  
認識

## 着実に進む人口減少。 「圏外」になると集積する都市機能が大きく変化する

人口減少により  
都市圏が縮小

日本の人口減少という課題をご存じの方は多いと思います。もしかしたら、「私たちに影響が出始めるのは、まだ先の話」、漠然とそう思っている方もいらっしゃるかもしれません。確かに、人口減少の危機感は実感しづらいかも知れません。しかし、人口減少に伴って大都市の都市圏は縮小し、それに合わせて「魅力的な施設が立地する範囲」も確実に縮小しています。そして、ひとたび枚方市がこの範囲から外れてしまうと、枚方市に新たに作られる建物は一気にこれまでとは違ったものになっていきます。

「圏外」の都市へは  
新規投資が減少

例えば、枚方市よりも都心に近い市や、子育て世代に選ばれやすい市では、大規模な商業施設のように、人が集まり、賑わいを生み出しやすい施設が今も新たに作られています。一方、枚方市では比較的大規模な土地があったとしても、商業施設ではなく、戸建て分譲地やマンション等、住居になっていくケースが増えています。民間事業者からは、「枚方市には大きな予算を使って大規模商業施設を作っても、採算が合うほど来客を見込める魅力はもう無い」と判断されてしまっているのです。

居住エリアは  
賑わいエリアに戻らない

今、枚方市内各地でまとまった土地が次々と住居に置き換わっています。一度、戸建てやマンション等のような土地の所有者が細かく分散する土地になってしまふと、その土地を再び賑わいを創出するエリアに作り変えることは困難です。「もう挽回できない、そんな状況になる前に、枚方市がこれまでの都市レベルを維持できる抜本的な戦略を考える必要があります。

関連する情報

令和5年12月議会での松本佑介の一般質問  
「人口減少を緩やかにする施策について」  
<https://www.matsumoto-yusuke.jp/report/202/>



松本佑介のnote記事  
「都市の個性を均質化するベッドタウン化」  
[https://note.com/matsumoto\\_yusuke/n/n1a7157c27523](https://note.com/matsumoto_yusuke/n/n1a7157c27523)

# 枚方市の強み(枚方市発展の原点)を再確認しよう!

強み①

京阪間最大の  
人口規模と公共交通網

枚方市駅は京阪間の  
梅田駅を目指す

事業所を集積し、周辺市の雇用を  
支えられるエリアに作り替える

POINT

雇用があれば、  
人が集まり、  
賑わいが生まれる  
◀ 梅田の高層ビルは商業にとどまらず  
上層階にはオフィス機能も

※上記の都市圏分布図はあくまで視覚的なイメージであって、精緻な分析等によるものではありません

強み②

京都-大阪の中間地点、  
国内随一の幹線道路

枚方を通るなら、  
飯くらわんか!

国道一号線、第二京阪、新名神の  
通過交通を顧客化する

POINT

幹線道路沿いで、  
大阪のうまいもんを  
提供できる施設を整備  
◀ 京都府南山城村の道の駅  
「お茶の京都 みなみやましろ村」  
(出典)南山城村公式観光ポータルサイト

強み③

良好な住環境と  
適度な自然

府下有数の住環境、都市機能と  
自然が適度に共存している

▼

今、都市の緑が  
再評価されている

POINT  
緑ある住環境を維持。  
しかも未開発地は  
将来の成長を支える  
◀ 未開発エリアのイメージ

松本佑介の  
解決策

枚方市の再発展は、枚方市の強み・魅力を  
改めて活かすことから始まる



枚方市駅は京阪間の  
梅田駅を目指す

日本国内で40万人級の人口を擁する都市は、ベッドタウン以外だと、県庁所在地か企業城下町(大企業の本社がある町)のように、自ら雇用を有する町です。これまで枚方市は大阪市のベッドタウンとして、今的人口規模まで成長してきました。しかし、今後、大阪都市圏が縮小し、枚方市が大阪市のベッドタウンとして人口増加が見込めなくなることも考慮すると、枚方市は自前で雇用を生む町へと変化しなければなりません。

枚方市にとっての枚方市駅の位置づけは、大阪全体で考えると梅田駅です。雇用が生まれれば、人が集まり、人が集まれば賑わいが生まれます。枚方市駅周辺が住居に置き換わる前に、枚方市駅に今の時代に合ったオフィススペースや商業エリアを確保しましょう。

枚方を通るなら、  
飯くらわんか!

「稼ぐエリア」も必要です。それには国道一号線、第二京阪、新名神のような幹線道路の通過交通を見逃してはなりません。枚方の先人たちは淀川を移動する人々にも「飯くらわんか」といって、食事を売ることを考えました。私たちも国道一号線などの幹線道路を通過する方に食事を提供しましょう。昨今、SAや道の駅が成功している事例は珍しくありません。大阪のうまいもんを枚方市に集めて、枚方の地のものと一緒に通過客に提供できる施設は枚方市のブランディング、マーケティング上でも効果的です。

今、都市の緑が  
再評価されている

そして何より、枚方市民が枚方市が好きな一番の理由は住環境です。都心に近すぎず遠すぎず、都市機能と自然が適度に共存している、それが枚方市に住んでいる私たちだけが知っている枚方市の魅力です。しかも、未開発の土地は、必要なときに開発して、都市の成長を支えることができます。これから枚方市に転入する方、そして私たちの子ども達のためにも「あえて田舎を残しましょう」。

→ 松本佑介のSNSはこちら →



ここに記載したアイディアは一例です。

松本佑介には、他にもまだまだ枚方市を盛り上げるアイディアがあります。

松本佑介のアイディアにご興味をお持ちいただけた方は、SNSのフォローをお願いします!!

# 松本佑介の政策

## 1 にぎわい創出と枚方経済の活性化

- 枚方市民の所得増加を目指す
- 市内企業に対する積極的な支援強化



## 2 教育・子育て環境の改善

- 教育・子育て環境を大阪府下No.1へ
- 子育て関係費用への助成を大幅拡大
- 最先端のIT教育環境を急ピッチで整備
- 子どもの特性に応じた最適な教育環境
- 子どもの遊び場の整備

## 4 防災機能とインフラの抜本的な見直し・強化

- 枚方市駅周辺をあるべき姿で再整備  
(都市機能の強化、雇用機能の集積、賑わいエリアの拡大)
- 周辺府市と連携した都市計画・道路計画
- 防災教育の推進と防災意識の啓発強化

## 5 健康都市に向けた医療・福祉の強化

- 健康寿命の延伸と健康人口の拡大  
(早期発見・早期治療による実現を目指す)
- シニア世代の社会参画を推進  
(シニア世代の知識・経験を次世代に伝承)
- 福祉・社会保障・年金制度の矛盾を解消  
(必要な方に必要な補償を)

## 3 環境問題に対する取り組みを強化

- 環境意識における世代間格差の解消
- 環境教育の促進と環境基準の徹底
- 天野川の清掃強化と環境改善  
(七夕伝説を地域振興の起爆剤へ)

## 松本佑介から皆さまへお願い

最後までチラシを読んで頂いてありがとうございます。  
松本佑介の課題認識に納得し、解決策を読んで枚方の未来に希望を見出してくれた方がいらっしゃれば本当に嬉しいです。

今後も、松本佑介は枚方の課題と解決策について情報発信していきたいと考えております。  
このチラシを最後までお読み頂いた皆さんに、チラシ以外の方法でも情報を届けできるよう、**是非松本佑介の公式ラインのご登録をお願いします。**



LINE友だち追加はこちら  
ぜひ松本佑介からの情報をお受け取りください



公式サイトやその他のSNSはこちらから

X @matumoto\_yusuke

Instagram @matsumoto\_yusuke\_desu

»»

